

☆シミュレーション研修☆



【事前打ち合わせの様子】

1月22日(木)に、フィジカルアセスメントⅡ研修を行いました。看護師3名・研修医1名のチームを組み、全11グループに分かれ、患者の急変時の対応についてのシミュレーション研修を実施しました。

シミュレーション演習では、今年度より研修医も演習に参加し、現場の状況に応じて行動しました。

シミュレーション後は、演習ビデオを見ながら自分たちの行動をふり返りました。



【シミュレーション風景】

<看護師の感想>

●紙面で考えていたように観察したり、マニュアルに沿った行動をできていない部分が多くあった。自分のアセスメント能力を鍛えていくことが必要だと改めて感じた。

●処置や対応で精一杯になってしまいがちだが、そんな時ほど患者に安全に対応できるようコミュニケーションを密に行わなければならないと感じた。



【シミュレーション後のふり返り】

<研修医の感想>

●思った以上に慌てて周りが見えなくなってしまうこと、普段から急変時の対応について学んでおく必要性、医療スタッフ同士のコミュニケーションの大切さ、急変時に的確に指示・役割をこなすことの重要性など考えさせられました。

●医師が的確な指示を出さなければチームの機能が半減してしまうとも思い、こういった急変に対する治療について訓練が必要だと痛感しました。

☆看護部特別研修☆

1月29日(木)に、看護部特別研修として「笑いの現場から学ぶ!最強医療コミュニケーション『なんでやねん力』」を開催しました。元吉本芸人で現在は放送作家として活動されているWマコトさんを講師に迎え、コミュニケーション力を高める講演をしていただきました。



参加者からは「一生のうちに笑っている時間が22時間30分というデータがあったが、それより多く笑ってやろう!と思いました」「『チンゲンサイ(鎮心術、現状把握術、采配術)』、あらためて実践していきたい」などの感想がありました。



☆育休看護師復職支援☆

1月29日(木)に、今年度3回目となる育休中看護師対象の復帰支援プログラムを実施しました。今回は育休中看護師4名に加え、潜在看護師1名の計5名の方に参加いただき、看護技術の演習や電子カルテ操作の確認を行いました。

参加者からは「実際の物品を使って演習ができてよかった」「復帰直前に参加できたら良いと思う」などの意見がありました。

